

令和4年度

徳島市八万学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

生徒自らが、積極的に学習に取り組もうとする姿勢の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
山田 王代 板東 幸治	校長 : 大阪真智子 教頭 : 吉田 光宏 教頭 : 梶原 秀文 教務主任: 武市 明典 研修主任 : 山田 王代・板東 幸治 1学年主任: 北野 美嘉 2学年主任: 竹内 宏子 3学年主任: 板東 幸治

校長

大阪真智子

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

・学校評価アンケート、各テストなどによる現状把握、管理職による授業参観、教員自身の振り返りなどを活用

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中は定着に向けて、真面目に取り組んでいる。そのため、ある程度の割合で、理解・正解ができています。 ●家庭学習の不足、整理ができていないまま丸覚えをしているなどのため、真の定着には結びついていない。	・家庭学習の充実による、基礎基本の定着	・「家庭学習の必要性」を生徒に理解させ、積み重ねることのできる実行力を育てる ・保護者への啓発			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○思考が求められる発問に対しても、積極的に考えようとする生徒は一定数いる。 ○ノートへのまとめ方が工夫したまとめ方ができるようになりつつある。 ●文章にまとめたり、人にわかりやすく説明したりする力は、まだ不十分である。	・整理する力 ・読み取る力 ・まとめる力 ・説明する力を伸ばす	・「思考」させる発問の工夫 ・よりよいノートづくりの指導 ・わかりやすくまとめる力・説明する力を育てるための授業の工夫			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中は、発問に意欲的に取り組むようとする生徒、友だちと学び合いができる生徒は多数いる。 ●与えられた課題には真面目に取り組む生徒が多いが、自ら課題を見つけ、対策を立て、計画立てた取組ができていない生徒は少ない。 ●授業の振り返りを行うことができていない教科は多い。	「振り返り」の定着 ・自らの理解度合いを振り返る ・不十分などところを見直す時間を取る ・自分の力に適した課題を見つけ、高めるための努力ができる	「振り返り」の定着 ・各教科で授業の振り返りを行う ・生徒自らが課題を見つけ、対策を立て、計画を立て、実行に移すことができるような力を育てる			

令和4年度 学力向上ロードマップ

